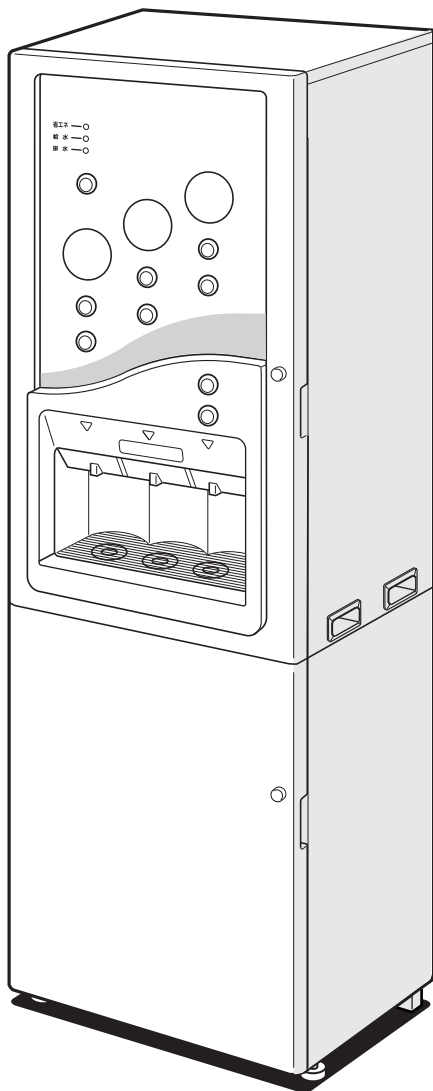


自動お茶いれ機 取扱説明書

形名

HTC-830M1
HTC-630M1



- このたびは自動お茶いれ機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- この取扱説明書はHTC-830M1をもとに説明してあります。なお、HTC-630M1は注出できる飲料の数が変わるだけで使いかたは同じです。
- 工事説明書および保証書を販売店から必ずお受けとりのうえ保存してください。

安全上のご注意	1～3
お願い	4
各部のなまえとはたらき	5～6
はじめてご使用になる前に	7～8
給水のしかた	9～10
排水のしかた	11～12
原料の入れかた	12
コントローラーの使いかた	13～35
コントローラーで設定できる機能	13～14
数値設定する機能の設定可能値	15
リンスする	16
休止を解除させる	16
沸騰させる	16
適温になっていないが注出する	17
週間予約をする	17
学習省エネ運転を行う	18
原料基準値を設定する	18
原料の量を設定する	19
飲料の量・温度を設定する	19
カップサイズを設定する	20
濃さの追加を設定する	20
累計の注出回数を見る	21
休止・故障履歴を見る	21
現在時刻を合わせる	22
湯温・適温を設定する	22
週間予約を設定する	23
休日予約を設定する	24
注出可能な時間帯を設ける	25
定期的に沸騰させたい場合	26
定期的にリンスをする場合	27
自動的に湯タンクの水を入れ替える	28
基準値を設定する	29
連続で注出させる	30
同時注出を設定する	31
飲料ボタンの注出可否を設定する	32
殺菌ランプ動作時間を設定する	33
ミキシングモーターの通電率を設定する	34
学習省エネ運転を設定する	35
お手入れ	36～39
別売部品	40
修理サービスを依頼する前に	41～42
仕様	42
保証とアフターサービス	43



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は、試運転を行い異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】




表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

免責事項

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

⚠ 警告

異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店に点検・修理を依頼する

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。

漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

D種接地工事が必要です。またアース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。



アースの接続

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

原料容器棚には手を触れない

原料の防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。



接触禁止

飲料注出動作中は機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

安全上のご注意 (つづき)

警告

湯タンクヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買上げの販売店に依頼し、必ず湯タンク内の湯を排水してください

再度、湯タンクヒーターを通电させるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください

衛生上の問題や故障の原因になります。



衛生注意

地震などによる転倒防止の処理をする

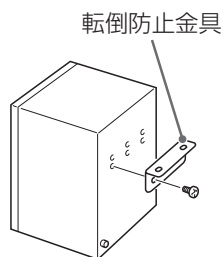
振動により転倒し、けがの原因になります。



転倒防止

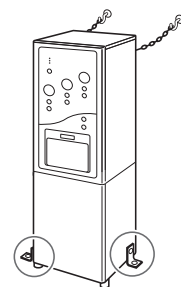
自動お茶いれ機の転倒防止

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の転倒防止金具を使用して、壁や柱に固定してください。部品はお買上げの販売店にご相談ください。



別売置台の転倒防止

別売置台を使用する場合は、グラグラしないように置台の高さ調整脚（前2本）で高さを調整し、別売置台の付属する床固定金具で確実に固定します。



注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く

感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する

電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない

扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない

水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

本体の近くにガス類や引火物を置かない

発火の原因になります。



引火物禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

お湯（30℃以上）や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指示

スパウトヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買上げの販売店に依頼してください

使用原料の種類や設置場所の環境（室温、湿度等）によって原料が固着する場合があります。



指示

お願い

長時間お使いにならないとき

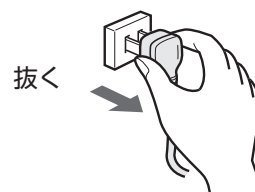
2日以上ご使用にならなかったとき

雑菌が繁殖している恐れがあります。

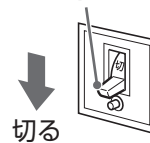
湯タンクの水を排水し、新しい水道水と入れ替えてください。

前面板を開け、電源スイッチを切り、カップステーションを取りはずし、湯排水コックを「開」にして排水します。排水が終了したら湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れます。

また、本体内の残水をすてるために、飲料ボタンの「冷水」を5～6回押します。日常のお手入れは、湯排水コックを閉じておこなってください。



電源スイッチ



1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全部取り出します。止水栓を閉め排水し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「排水のしかた」(11～12ページ参照)に従い排水してください。

別売置台 (CAT-11F、CT-32M、CT-33F) をご使用の場合は、水タンクや排水タンクの水も、必ず排水してください。

お願い

別売置台CAT-11F、CT-32M、CT-33Fの排水タンクに排水するときは、自動お茶いれ機本体の湯タンクの容量が、排水タンクおよび排水容器の容量(10L)より多くなります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。

お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

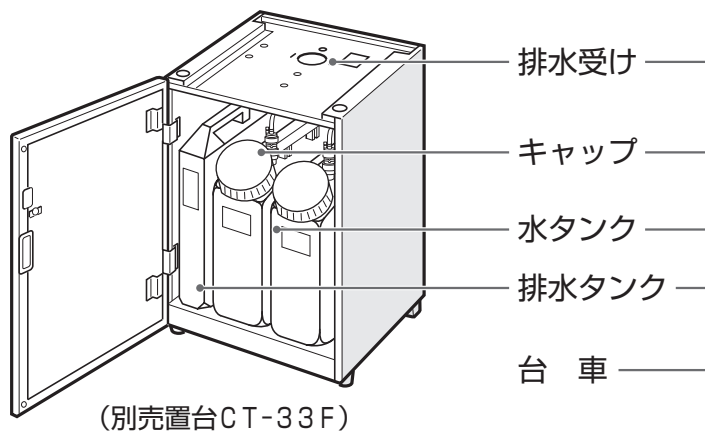
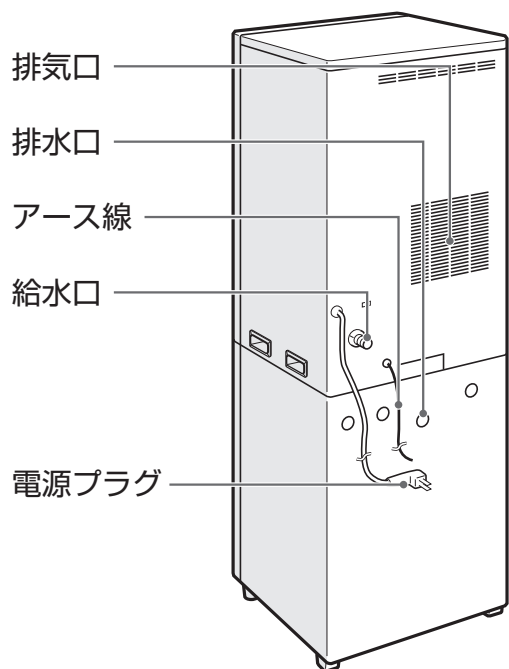
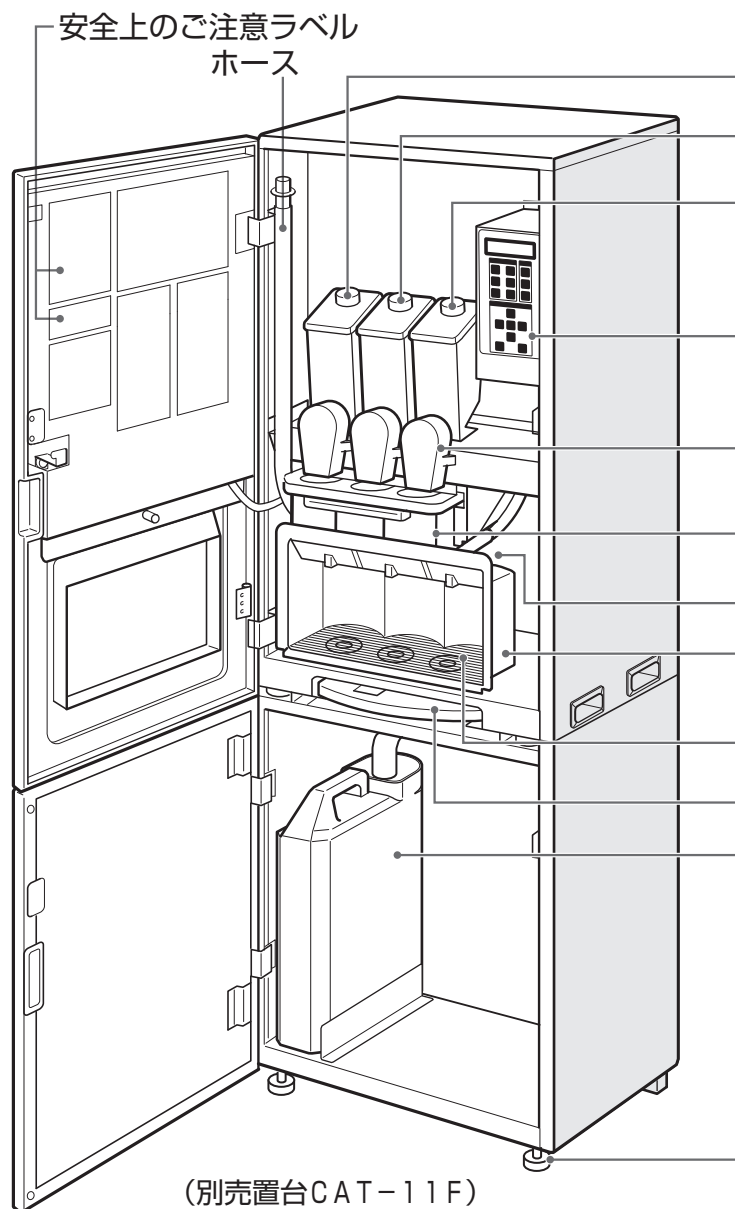
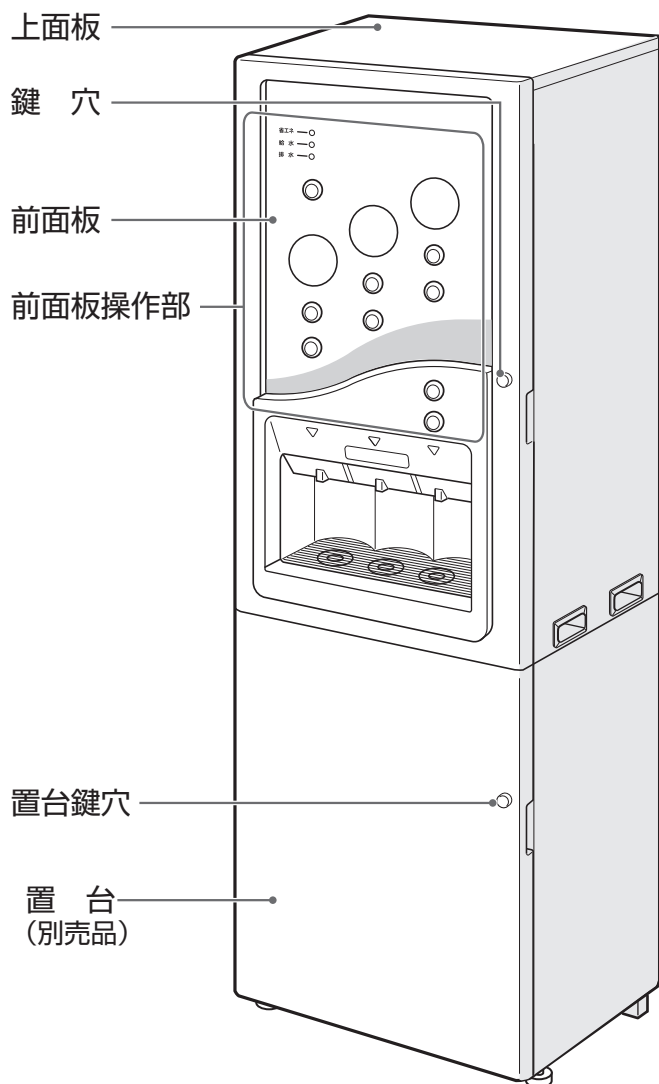
水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。

点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

各部のなまえとはたらき

本 体

[] 内はHTC-630M1の仕様です。



前面板操作部

原料容器3

[原料容器2]

原料容器2

[原料容器1]

原料容器1

[HTC-830M1のみ]

コントローラー

原料シュート

ミキシングボール

ロート

フィルター (奥側)

カップ

ステーション

スノコ

排水皿

排水タンク

高さ調節脚

濃いめボタン

濃いめボタンを押すとボタンランプが点滅し、飲料の濃さが追加されます。もう一度濃いめボタンを押すとボタンランプが点灯し、キャンセルします。飲料ボタンを押す前に押してください。

省エネランプ

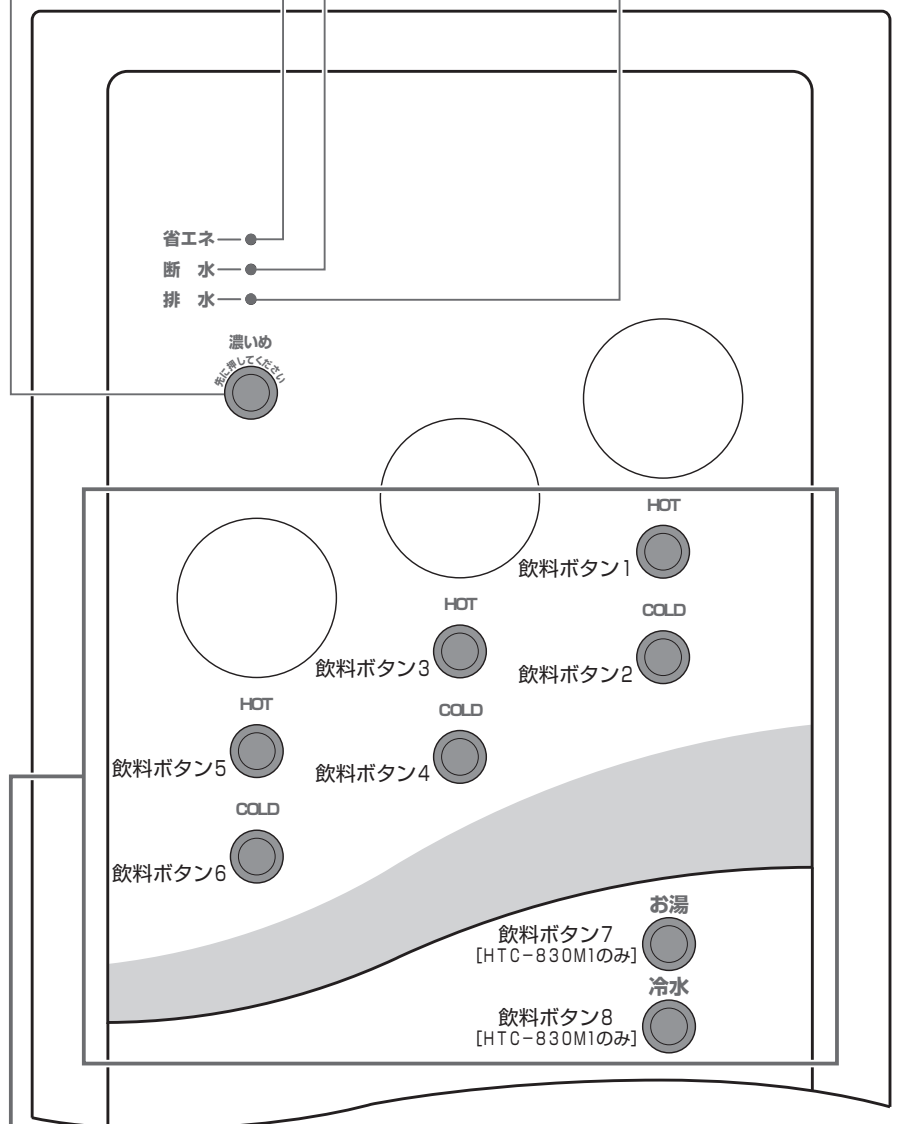
学習省エネ運転動作中または週間予約動作中に点灯します。

断水ランプ

正常な状態では消灯しています。断水になると点滅しています。

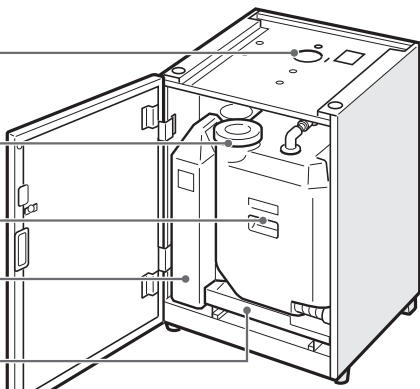
排水ランプ

正常な状態では消灯しています。置台の排水タンク・排水容器が満水になると点滅しています。



飲料ボタンとボタンランプ

- 飲料ボタンが点灯している飲料ボタンを押すと注出することができます。注出中はボタンランプが点滅します。
- 飲料ボタンが全て点滅しているときは、リンス中を表します。
- 飲料ボタンに準備中の表示が出ているときは、その理由がコントローラーの表示部に表示されます。



(別売置台CT-32M)

はじめてご使用になる前に

警告

湿気の多いところや、水のかかる
ところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

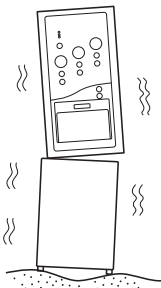
D種接地工事が必要です。またアース線は
ガス管・水道管・避雷針・電話線などへの
接続はしないでください。



アースの接続

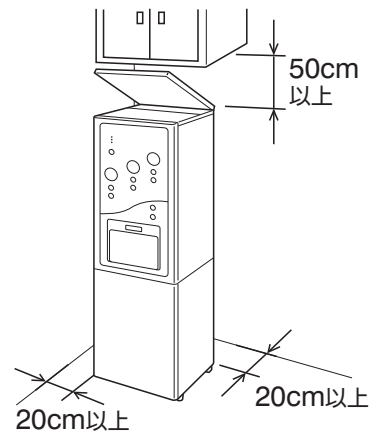
設置環境の確認

床は丈夫で平坦な場所に据えつけられていますか
床が傾いていたり不安定な場所では、
転倒したり振動や騒音の原因になり
ます。



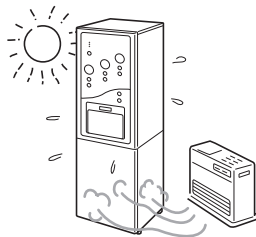
風通しが良く保守や修理サービスの容易なところに据え
付けられていますか

必ず両側面と後面は20cm以上の隙間を開けてください。
スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉を開け
たとき物に当たったりします。また、上側は修理サービス
のときに、上面板が開けられるように50cm以上空間を
開けてください。



直射日光の当たる場所や、熱器具のそばに据付け
られていませんか

冷水機の冷却効果が低下したり、
過熱し故障の原因になります。



輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす

内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

電源の入れかた

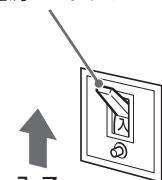
前面板を開けて電源スイッチを兼ねている、漏電遮断器のレバーを上にあげると電源が入り、前面板の運転ランプが点滅します。

電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。夜間等に電源スイッチを切っておくと、防湿ヒーターが働かず原料が固まり出なくなることがあります。

別売置台CT-33Fをご使用の場合

電源を入れる前に、置台の水タンク2個に満水レベルまで給水してください。
水タンクが空の状態では電源を入れると、ポンプが故障する原因になります。

電源スイッチ



より衛生的にご使用いただくために

工場出荷時にタンクや本体内の配管内部を洗浄していますが、より衛生的にご使用いただくために、つぎの手順を2～3回繰り返し内部を洗浄してください。

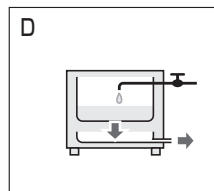
1. 「給水のしかた」（9～10ページ参照）に従い給水します
2. 前面板操作部の各飲料ボタンを押し、それぞれコップに4～5杯分の水を排水します
3. 「排水のしかた」（11～12ページ参照）に従い本体内部の水を排水します
4. 再度、給水してからご使用ください

給水排水方式について

据付場所や給水・排水の方法により5つのタイプがあります。

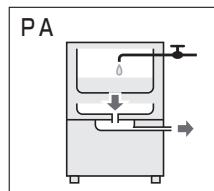
Dタイプ（水道直結・直接排水・卓上式）

既存のテーブルやカウンターの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水口に直接排水して使用します。

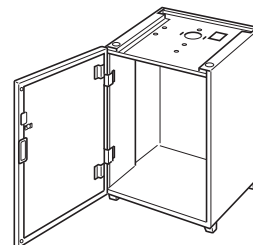


PAタイプ（水道直結・直接排水式）

別売置台CAT-10Mの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水口に直接排水して使用します。置台内部に除菌浄水器（水フィルター）が組込まれているタイプと組込まれていないタイプがあります。

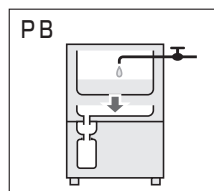


別売置台CAT-10M

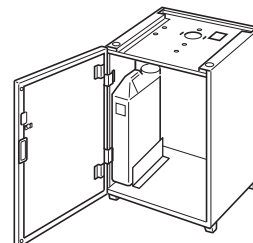


PBタイプ（水道直結・排水容器付）

別売置台CAT-11Fの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水タンク（10L）に排水して使用します。置台内部に除菌浄水器（水フィルター）が組込まれているタイプと組込まれていないタイプがあります。

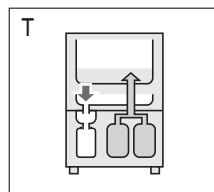


別売置台CAT-11F

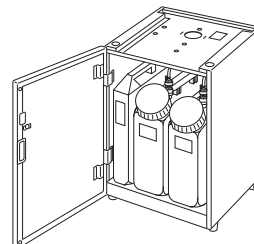


Tタイプ（下部給水・排水容器付）

給水は置台の水タンク（15L×2個）から内蔵ポンプで自動給水をおこない、排水は排水口へ直接排水、または置台の排水タンク（10L）に排水することができます。置台内部に除菌浄水器（水フィルター）が組込まれています。ポンプ電源は本体からとり、電源コンセントはいりません。

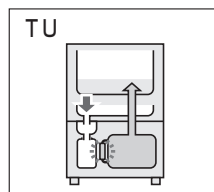


別売置台CT-33F

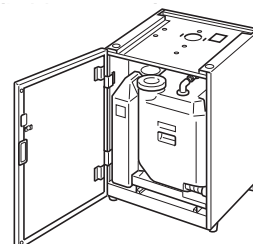


TUタイプ（下部給水・排水容器・殺菌ランプ付）

給水は置台の水タンク（30L）から内蔵ポンプによる給水をおこない、排水は排水口への直接排水、または置台の排水タンク（10L）に排水することができます。置台内部に除菌浄水器（水フィルター）と殺菌ランプが組込まれています。ポンプ電源は本体からとり、電源コンセントはいりません。



別売置台CT-32M



給水のしかた

前面板を開け、カップステーションを取りはずし、湯排水コックが閉まっていることを確認します。



湯タンクへの給水

Dタイプ(水道直結・直接排水・卓上式)、PAタイプ(水道直結・直接排水式) またはPBタイプ(水道直結・排水容器付)の場合

1 止水栓を開き給水する

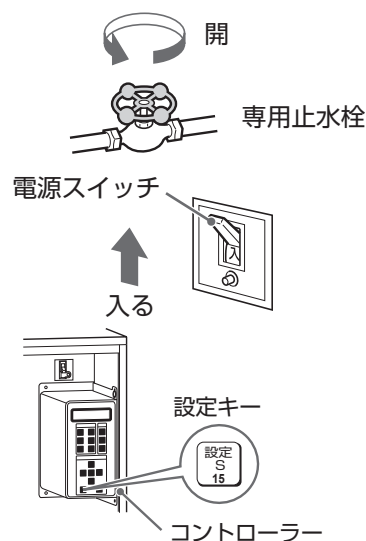
水道の止水栓を開き、本体内部や給水配管からの水漏れがないことを確認します。

2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。

3 断水や一度で満水にならないとき

断水や一度で満水にならないときは、断水ランプが点滅して給水を一時中止します。水道の給水を確認しコントローラー操作部の「設定」キーを押してください。給水を再開します。



Tタイプ(下部給水・排水容器付)の場合

⚠ 注意

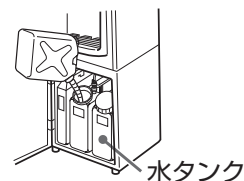
2つのタンクに給水してから電源を入れる

1つのタンクに給水しただけでは正常に動作せず、故障の原因になります。



1 置台の水タンクに給水する

別売のポリタンクなどで、置台の水タンク2個に満水レベル(15L)まで給水します。



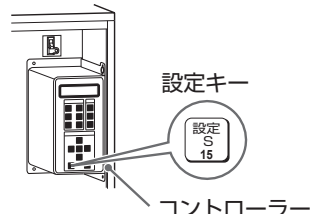
2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。



3 水タンクが空になったり一度で満水にならないとき

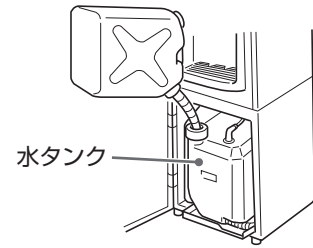
水タンクが空になったり、一度で満水にならないときは、前面板の断水ランプが点滅し、給水を中断します。水タンクに水を補給しコントローラー操作部の「設定」キーを押すと、給水を再開します。



TUタイプ（下部給水・排水容器・殺菌ランプ付）の場合

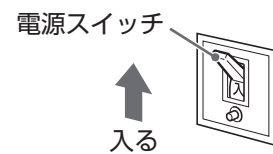
1 置台の水タンクに給水する

別売のポリタンクなどで、置台の水タンクに満水レベル（30L）まで給水します。



2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。

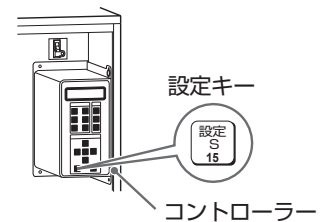


3 殺菌ランプの運転を設定する

コントローラー操作部のキーを押して、設定を「スル」にします。詳細は別売置台の設置注意チラシをご覧ください。

4 水タンクが空になったり一度で満水にならないとき

水タンクが空になったり、一度で満水にならないときは、前面板の断水ランプが点滅し、給水を中断します。水タンクに水を補給し、コントローラー操作部の「設定」キーを押すと、給水を再開します。



冷却用タンクへの給水

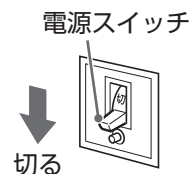
冷却用タンクへの給水は「年に一度のお手入れ」（39ページ参照）の給水方法に従ってください。（満水になると休止モニターの「レイキャクスイダンスイ」の表示が消えます。）

排水のしかた

湯タンクの排水

1 電源スイッチを切る

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを下げ電源を切ります。電源スイッチを切らないと、排水中に給水してしまいます。



2 湯排水コックを開き排水する

カップステーションを取りはずし、湯排水コックを開きます。別売置台の排水タンクに排水するとき、自動お茶いれ機本体の湯タンクの排水量が、排水タンクの容量(10L)より多くなる場合があります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。



お願い

2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。湯タンクの水を排水してください。

3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し湯排水コックを閉じます。

冷却用タンクの排水

冷却用タンクの排水は「年に一度のお手入れ」(39ページ参照)の排水方法に従ってください。

別売置台 (CT-33F、CT-32M) 水タンクの排水

湯タンクの排水をしてから、水タンクの排水をしてください。

1 湯排水コックを開き、電源を入れる

前面板を開けカップステーションを取りはずし、湯排水コックを開き電源を入れます。

電源を入れたままで湯排水コックを開くことにより、水タンクの水を湯タンクに給水しながら排水がおこなえます。約5分が過ぎると自動的に給水が停止します。排水が足りないときは、再度「設定」キーを押してください。

排水量が排水タンクの容量(10L)より多い場合は、必ず2回以上に分けて溢れさせないように排水してください。



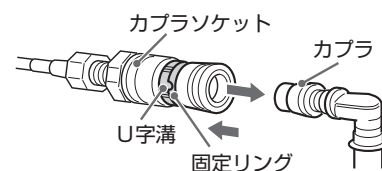
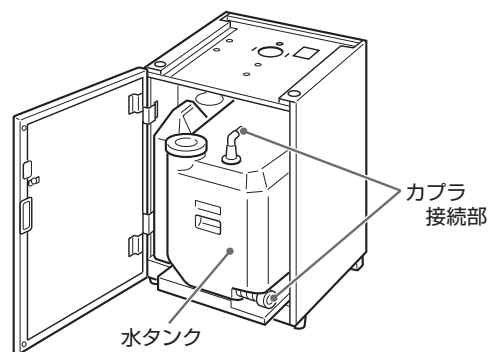
2 カブラをはずし残水をすてる

水タンクの水がほぼ無くなったなら、電源を切り水タンク上部 (CT-32Mは下部も) のカブラをはずし、水タンクを取り出し残水をすてます。

カブラの着脱

カブラは固定リングをカブラソケット側に約5mm押し付けながら、同じ方向に押しとはずれます。

接続は、はずすときと逆の方向に、カブラソケット全体をカブラに押し付けると固定できます。接続に固定リングは無関係です。



ロック機構について

カプラソケットには、固定リングとカプラソケットにロック機構があります。ロック機構がロック側のときは、取り付けはできますが取りはずしできません。ロック機構はカプラソケットと固定リングのU字溝が合うと固定リングをカプラソケット側に押し付けることができます。

お願い

別売置台CT-33Fは、2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。水タンクの水を排水してください。別売置台CT-32Mは、殺菌ランプ運転を設定している場合は1週間を目安に、設定していない場合で、2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがありますので、水タンクの水を排水してください。

3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し、湯排水コックを閉じます。

原料の入れかた

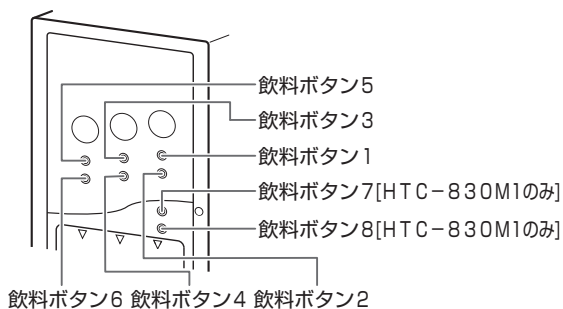
指定の原料以外はご使用にならないでください。

原料の種類によって粒度や吸湿性が異なると、正常な動作ができないことがあります。

詳しくは、販売店にご相談ください。

1 原料容器と飲料ボタンを確認する

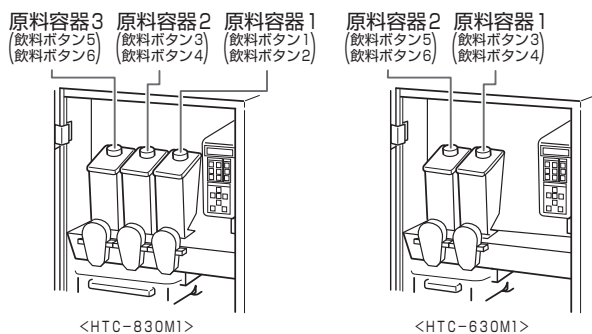
前面板の飲料ボタンと、原料容器の関係をまちがえないように、確認します。



2 原料容器に原料を入れる

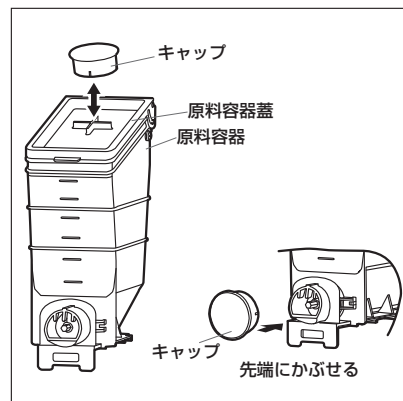
原料容器の蓋をとり、上から原料を静かに入れます。原料容器の容量は約800mlです。

原料容器をたたいたりして、原料を無理に詰め込まないでください。内部で固まり出なくなることがあります。



原料容器を着脱するときは

原料容器の先端から原料がこぼれないように、原料容器蓋についているキャップを取りはずし、原料容器の先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。



コントローラーの使いかた

コントローラーで設定できる機能

2. 休止解除キー

水断水、湯断水を解除します。

1. リンスキー

ミキシングボールの洗浄動作を行います。動作時の湯・水量、定期的にリンスを行う設定は「選択」キーによる「自動リンス」で行ってください。

3. 沸騰キー

湯タンクの沸騰動作の運転、停止を行います。定期的に沸騰を行う設定は「選択」キーによる「沸騰制御」で行ってください。

4. タイマーキー

「タイマー一時解除」「週間予約」「休日予約」「タイマー運転」の設定、または解除をします。

5. 茶の葉交換キー

この機種は対応していません。

6. エコ運転キー

「学習省エネ運転」の運転、停止を設定します。

15. 設定キー

入力操作した内容が設定されます。また故障解除時にキーを押します。

表示部

待機画面では、現在時刻・湯タンク・冷水機の運転状態および温度を表示します。

飲料が注出できない状態では「休止モニター」、故障の場合は「故障モニター」を自動表示します。

7. 湯・水・原料キー

キーを押すと下記の機能を順次表示します。

8. カウンターキー

トータル→ボタン別→有料（※）の累計注出回数を順次自動送り表示します。（※）別売のコイン管理装置が必要です。

9. 選択キー

キーを押すと次ページの機能を順次表示します。

12. 訂正キー



表示部の指示により設定内容を変更・自動表示送りを停止をするときに使用します。



16. 終了キー


待機画面に戻ります。「リンス」「沸騰」の動作中はボタンを押しても待機画面に戻りません。

10・11・13・14. カーソルキー

表示画面の中で設定する項目送り、項目・内容・数値選択・自動送り表示を停止するのに使います。

  : 項目・内容選択

  : 項目送り、内容・数値選択、自動送り表示停止

 キー

機能	内容
原料	原料の量を設定できます。
湯・水	各飲料ボタンの湯または水の注出する量と温度を設定できます。
濃さの追加	濃い目ボタン押したときの、原料量を増やす割合を設定できます。
カップサイズ	使用するカップのサイズを設定できます。
原料基準値	原料量の設定値と実際の量との違いを補正する機能です。

選択
9

キー

機能	内容												
1 休止履歴	休止があった場合、最新の休止20項目が表示されます。												
2 故障履歴	故障があった場合、最新の故障9項目が表示されます。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。												
3 現在時刻	現在の年月日、時刻の調整に使用します。曜日は年月日に合わせて自動修正されます。												
4 湯温・適温	湯温（お湯の沸き上げ温度）と適温（飲料の注出可能温度）の設定ができます。												
5 週間予約	曜日ごとに運転時間を設定できます。休日や夜間などの運転を自動的に停止させることができます。												
6 休日予約	連続して停止させたい期間の年月日を最大9回まで設定できます。連休などの運転を自動的に終日停止させることができます。												
7 注出時間帯	1日の内で設定した時間帯だけ注出できるようにし、それ以外の時間帯は注出できないようにできます。設定できる時間帯は1日最大8回です。												
8 沸騰制御	1日に最大3回、設定時刻になると自動的に湯を沸騰させることができます。												
9 自動リンス	曜日ごとに1日最大4回、設定時刻に注出口や配管などを自動的にリンス（洗浄）することができます。またリンスするときの湯・水の量、除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替えも設定できます。（※除菌浄水器（水フィルター）が必要です。）												
10 タンク排水	曜日ごとに湯タンク内の水を設定時刻に入れ替えることができます。この機能は建物の排水口へ直接排水できる場合で、別売の自動洗浄装置が必要です。												
11 基準値	湯・水の設定値と実際の注出量との違いを補正する機能です。この機能で設定することにより、「湯・水」の機能で設定した量を正しく出すことができるようになります。水量は水圧の変動によって設定値と実際に出る量が大きく異なる場合があります。												
12 連続注出	飲料ボタンを1度押すだけで、数回分の飲料を連続して出すように設定できます。「連続注出」の設定は各飲料ボタンごとにでき、連続する回数は最大9回です。「連続注出」を設定した飲料ボタンで注出中に、再度飲料ボタンを押すと、その時点以降の繰り返し注出を止めることができます。												
13 同時注出	複数の飲料を同時に注出するかしないかの設定ができます。												
14 ボタン管理	飲料ボタンごとに、注出をできるようにするかしないかの設定ができます。この機能により、原料切れなどで注出を停止する飲料ボタンを設定できます。												
15 殺菌ランプ動作	置台の水タンクを殺菌ランプ動作させる時間（ON・OFF時間）を設定できます。※工場出荷時は殺菌ランプ動作は「シナイ」に設定してあります。「スル」に設定してください。「スル」に設定しないと、殺菌ランプ動作を行いません。												
16 ミキシングモーター回転数	ミキシング機構の注出動作時に、ミキシングモーターの回転数を制御するため、ミキシングモーターへの通電率をレベルで入力して設定します。入力値が「5」に近づくほど、回転数が高くなります。各レベル値と通電率の関係は下表の通りです。 <table border="1" data-bbox="938 1563 1441 1630"> <thead> <tr> <th>入力値</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通電率</td> <td>60%</td> <td>70%</td> <td>80%</td> <td>90%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	入力値	1	2	3	4	5	通電率	60%	70%	80%	90%	100%
入力値	1	2	3	4	5								
通電率	60%	70%	80%	90%	100%								
17 学習省エネ運転	過去3週間の使用状態を学習し、最適な運転モードに自動切替し、消費電力量を抑える機能です。 (1) 湯タンクの運転 ●過去3週間に使用された時間帯及びその前の1時間は、「湯温」の設定値が何度であっても80℃で運転する。 「適温（湯）」の設定値が何度であっても70℃を適温とする。 ●過去3週間に使用されなかった時間帯は、「湯温」の設定値が何度であっても沸き上げは行わず、「適温（湯）」の設定値が何度であっても70℃を下回るまでは使用可能とする。 (2) 冷水機の運転 ●過去3週間に使用された時間帯及びその前の1時間は、「適温（水）」の設定値が何度であっても8℃を適温とする。 ●過去3週間に使用されなかった時間帯は、冷水機の運転は行わず、「適温（水）」の設定値が何度であっても10℃を上回るまでは使用可能とする。												
18 チェック	マイコンのバージョン情報を表示します。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。												

コントローラーの使いかた (つづき)

数値設定する機能の設定可能値

機 能		設定可能値	設定のきざみ	
湯・水・原料	原料の量 (注1)	0g~8.0g	0.1g	
	湯・水の量 (注2)	0ml~200ml・しない	1ml	
	湯・水の温度	レイスイ・COLD・3℃~85℃・HOT	1℃	
	カップサイズ	S・M・L		
湯温・適温	湯温	70℃~98℃	1℃	
	適温 (注3)	湯	63℃~85℃・しない	1℃
		冷水	3℃~20℃・しない	1℃
週間予約	週間予約動作	する・しない		
	曜日	月~日・一括 (月~金)		
	時刻 (注4)	ON時刻	00:00~23:59・連続	1分
		OFF時刻	00:00~23:59・連続	1分
冷水機運転	する・しない			
休日予約	休日予約動作	する・しない		
	年月日	開始日	071201~331231	1日
		完了日	071201~331231	1日
沸騰制御	沸騰動作	する・しない		
	動作音	する・しない		
	時刻 (注5)	00:00~23:59・しない	1分	
自動リンス	リンス動作	する・しない・週間予約同期		
	動作音	する・しない		
	曜日	月~日・一括 (毎日)		
	時刻 (注5)	00:00~23:59・しない	1分	
	湯量	0ml~150ml	1ml	
	水量	0ml~100ml	1ml	
	フィルター (除菌浄水器)	0ml~5000ml	1ml	
タンク排水	排水動作	する・しない・週間予約同期		
	曜日	月~日・一括 (毎日)		
	時刻 (注5)	00:00~23:59・しない	1分	
学習省エネ運転	湯温	70℃~98℃	1℃	
	冷水温	0℃ (氷あり検知制御)・3℃		
	適温	湯	63℃~85℃・しない	1℃
		冷水	9℃~20℃・しない	1℃
開始時間	00:00~23:00・しない	1時間		

- 湯・水・原料の量は目安であり、実際の量とは多少異なる場合があります。
- 工場出荷時は標準的な使いかたの値が設定されています。くわしくは各機能の設定画面を表示してご確認ください。
 - (注1) HTC-830M1の飲料ボタン7、8およびHTC-630M1の飲料ボタン1、2には、原料の量を設定することはできません。
 - (注2) HTC-830M1の飲料ボタン7、8およびHTC-630M1の飲料ボタン1、2はお湯、冷水用の飲料ボタンです。工場出荷時には飲料ボタンを押している間だけ飲料を注出する設定ですが、湯・水の量を「シナイ」から数値を選択しますと、その設定した量の飲料が定量注出されます。またこのとき、ほかの飲料ボタンとは異なり、飲料ボタンを押している間だけ飲料を注出することもできます。
 - (注3) 適温を「シナイ」に設定すると湯温や水温に関係なく注出できます。
 - (注4) 時刻を「連続」に設定すると終日運転または終日停止になります。
 - (注5) 時刻を「シナイ」に設定すると動作はしません。

リンスする

すぐにリンスをする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*リンスチュウ* ネットウガ デマスノデ チュウイ シテクダサイ	キーを押すとリンスを実行し、リンスが終了すると待機画面に戻ります。

- リンス中は飲料注出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。

休止を解除させる


[例] 冷却水断水を解除する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*キュウシモニター* ナイヨウハ T	「水断水」中に「休止解除」キーを押すと水断水を解除します。

- 「湯断水」も「休止解除」キーで解除できます。

沸騰させる

すぐに沸騰させたい場合






順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*フットウチュウ* ジョウキガ デマスガ イジョウ デハ アリマセン	「沸騰」キーを押すと左記画面が順次自動表示され沸騰動作を開始します。 沸騰が終了すると待機画面に戻ります。

- 沸騰動作中に「沸騰」キーを押すと解除します。

コントローラーの使いかた (つづき)






適温になっていないが注出する

お湯や冷水の温度が適温に達してなく、飲料が注出できないときに飲料を注出したい場合には、次の操作を行ってください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		タイマー カイジョ ナイヨウハ T オワリハ E	「タイマー」キーを押すと左記画面が表示されます。
2		ウンテン T デ エランダ S ヲ オス	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され、「ウンテン」が点滅します。
3		イチジ カイジョ T デ エランダ S ヲ オス	「訂正」キーを押すごとに、「ウンテン」と「イチジカイジョ」が表示されますので「イチジカイジョ」を表示します。
4		イチジ カイジョ T デ エランダ S ヲ オス	「設定」キーを押し、設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	注出ができるようになります。

- 通常の運転状態に戻すには、順序3で「ウンテン」に設定してください。
- 「週間予約」「休日予約」「注出時間帯」の休止条件で休止中の場合は、同じ操作で休止を一時解除できます。
- 「学習省エネ運転」で運転中の場合は、同じ操作で学習省エネ運転を一時解除できます。


週間予約をする

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		シュウカンヨヤク ホカハ U・D ナイヨウハ T	「タイマー」キーを2回押すと左記画面が表示されます。
2		シナイ T デ エランダ S ヲ オス	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され、「シナイ」が点滅します。
3		スル T デ エランダ S ヲ オス	「訂正」キーを押すごとに、「シナイ」と「スル」が表示されますので「スル」を表示します。
4		スル T デ エランダ S ヲ オス	「設定」キーを押し、設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	注出ができるようになります。

- 同様に「タイマー」キーを押していくと「キュウジツヨヤク」、「チュウシュツジカン」が表示されるので設定してください。
- 各タイマー時間は各選択項目で設定してください。












学習省エネ運転を行う

この機能は学習省エネ運転の動作を設定・解除する機能です。

順序	キー操作	内 容
1		「エコ運転」キーを押すと学習省エネ運転を開始し、省エネランプが点灯します。 もう一度「エコ運転」キーを押すと学習省エネ運転が解除され、省エネランプが消灯します。

原料基準値を設定する

この機能は「湯・水・原料」機能で設定した原料の量が、実際の量と異なる場合に補正をする機能です。設定するには、はかりなどが必要です。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンリョウ キジュンチ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		キジュンチ 1 2 ゲンリョウ 1. 2 3. 4	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ゲンリョウ」が点滅します。
4	  	キジュンチ 1 2 ゲンリョウ 5. 6 3. 4	 キーで1の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、右側の原料容器から原料が出てきますので容器で受け計量します。 数回測定して出した平均値を  キーで入力します。ここでは仮に5.6gとします。
5		キジュンチ 1 2 ゲンリョウ 5. 6 3. 4	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●コントローラーを交換したときや、RAMクリアーを行ったときは、基準値設定をしてください。

コントローラーの使いかた (つづき)

原料の量を設定する

[例] 飲料ボタン3に原料量1.2gを設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ゲンリョウ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン ゲンリョウ 1 0.8	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4	 	ボタン ゲンリョウ 3 1.2	キーで「ボタン」の下を「3」にしてください。次にキーで「ゲンリョウ」の下を点滅させキーで「1.2」にします。
5		ボタン ゲンリョウ 3 1.2	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

飲料の量・温度を設定する

[例] 飲料ボタン5を量120ml、温度75℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*ユ・ミズ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。(「湯・水・原料」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン リヨウ オンド 1 100 80	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4	 	ボタン リヨウ オンド 5 120 75	キーで「ボタン」の下を「5」にしてください。次にキーで点滅位置を移動しキーで「リヨウ」を「120」、「オンド」を「75」にします。
5		ボタン リヨウ オンド 5 120 75	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

カップサイズを設定する

【例】 カップサイズをMサイズからLサイズに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*カップサイズ* ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		カップサイズ M ホカハ U・D オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「カップサイズ」の右が点滅します。
4		カップサイズ L ホカハ U・D オワリハ E	キーで「カップサイズ」の右を「L」にしてください。
5		カップサイズ L ホカハ U・D オワリハ E	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

濃さの追加を設定する

【例】 飲料ボタン3を30%追加に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*コサノ ツイカ* % ツイカ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「湯・水・原料」キーを繰り返し押します。（「湯・水・原料」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン コサノツイカ 1 20	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ボタン」の下が点滅します。
4		ボタン コサノツイカ 3 30	キーで「ボタン」の下を「3」にしてください。 次に キーで「コサノツイカ」の下を点滅させ キーで「30」にします。
5		ボタン コサノツイカ 3 30	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●飲料ボタンを押す前に濃いめボタンを押すと設定した割合の原料を追加して注出します。

現在時刻を合わせる

【例】 08-4-1 12:00に合わせる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		3. ゲンザイジコク ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		08- 2- 1 (金) 1:01	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「年」が点滅します。
4		08- 4- 1 (火) 12:00	キーで点滅位置を移動し、 キーで各項目を変更します。(曜日は自動修正されます。)
5		08- 4- 1 (火) 12:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

湯温・適温を設定する

【例】 湯温を95℃、湯の適温を70℃、冷水の適温を10℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		4. ユオン・テキオン ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ユオン テキオン hot cold 98℃ 60℃ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ユオン」の下が点滅します。
4		ユオン テキオン hot cold 95℃ 70℃ 10℃	キーで「95」を表示させます。 キーで点滅位置を移動し、同様に適温の hot (湯) cold (水) も変更します。
5		ユオン テキオン hot cold 95℃ 70℃ 10℃	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●適温を「シナイ」に設定すると、湯・冷水の温度に関係なく注出できます。

コントローラーの使いかた (つづき)

週間予約を設定する

【例】土・日曜日を終日停止、その他の日は8:00から20:00の間運転とし、冷水機も同様の運転とする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		5. シュウカン ヨヤク ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、 キーを押しでも項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。
4	 	ドウサ スル	キーで点滅位置を移動し、 キーで「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	ヨウビ ON OFF イッカツ **: ** レンゾク	キーで「ヨウビ」の下が「イッカツ」の画面を表示させます。
7	 	ヨウビ ON OFF イッカツ 08:00 20:00	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ON」を「08:00」、「OFF」を「20:00」にします。
8		ヨウビ ON OFF イッカツ 08:00 20:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9	 	レイスイキ ウンテン スル	キーで「レイスイキ ウンテン」の画面を表示させます。
10	 	レイスイキ ウンテン シナイ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「シナイ」にします。
11		レイスイキ ウンテン シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 設定は後設定優先となっているため、順序6と9を逆にすると毎日が指定時刻の運転となります。
- 順序9で冷水機運転を「スル」に設定すると、先に設定した週間予約に関係なく、運転停止中でも冷水機だけは運転します。

休日予約を設定する

[例] 2008年5月1日から2008年5月5日まで運転を休止する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		6. キュウジツ ヨヤク ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。
4		ドウサ スル	キーで点滅位置を移動し、 キーで「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		1カイメ カイシ カンリョウ 071201 071201	キーで「1カイメ」の画面を表示させます。
7		1カイメ カイシ カンリョウ 080501 080505	キーで点滅位置を移動し、 キーで「カイシ」を「080501」、「カンリョウ」を「080505」にします。
8		1カイメ カイシ カンリョウ 080501 080505	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 最大9回まで設定できます。
- 2日以上ご使用にならなかったときは、雑菌繁殖の恐れがあります。
湯タンクや別売置台の水タンクの水は、新しい水道水に入れ替えてください。
また、各飲料ボタンを5～6回押しして注水動作を行い、配管内の残水を排水してください。

コントローラーの使いかた (つづき)

注出可能な時間帯を設ける

[例] 8:00から9:00および12:00から13:00を注出可能とし、それ以外の時間帯は注出できないようにする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		7. チュウシュツ ジカントイ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し ます。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項 目送りができます。)
2		セツテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅 します。
4	 	ドウサ スル	キーで点滅位置を移動し、 キーで 「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	カイスウ ON OFF 1 シナイ 00:00	キーで「カイスウ」の下が「1」の画面を 表示させます。
7	 	カイスウ ON OFF 1 08:00 09:00	キーで点滅位置を移動し、 キーで 「ON」を「08:00」、「OFF」を「09:00」に します。
8		カイスウ ON OFF 1 08:00 09:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9	 	カイスウ ON OFF 2 シナイ 00:00	キーで「カイスウ」の下が「2」の画面を 表示させます。
10	 	カイスウ ON OFF 2 12:00 13:00	キーで点滅位置を移動し、 キーで 「ON」を「12:00」、「OFF」を「13:00」に します。
11		カイスウ ON OFF 2 12:00 13:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
12		待機画面に戻ります。	設定完了です。

定期的に沸騰させたい場合

[例] 8:30と11:30に沸騰させ、動作中は動作音を鳴らす。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		8. フットウセイギョ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押します。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。
4		ドウサ スル	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		オート スル	  キーで「オート」の画面を表示させます。「スル」に設定してあると沸騰動作中に音がします。
7		カイスウ 1カIME 2カIME ジコク 00:00 00:00	  キーで「ジコク」の画面を表示させます。
8		カイスウ 1カIME 2カIME ドウサ 08:30 11:30	  キーで点滅位置を移動し、   キーで「1カIME」を「8:30」、「2カIME」を「11:30」にします。
9		カイスウ 1カIME 2カIME ジコク 08:30 11:30	「設定」キーを押し、設定を確定します。
10		待機画面に戻ります。	設定完了です。

コントローラーの使いかた (つづき)

定期的にリンスをする場合

【例】 毎日、11:00と16:00と22:00に湯量40ml、水量30mlでリンスを行い、動作中は動作音をさせる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		9. ジドウリンス ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ スル	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。自動リンスを行わない場合は、カーソルキーと「設定」キーで「シナイ」に設定してください。
4		オート スル	キーで「オート」の画面を表示させます。「スル」に設定してあると動作中に音が鳴ります。
5		ヨウビ 1カイメ 2カイメ イッカツ 07:00 シナイ	キーで「ヨウビ」の下が「イッカツ」の画面の「1カイメ」「2カイメ」の画面を表示させます。
6		ヨウビ 1カイメ 2カイメ イッカツ 11:00 16:00	キーで点滅位置を移動し、キーで「1カイメ」を「11:00」、「2カイメ」を「16:00」にします。
7		ヨウビ 1カイメ 2カイメ イッカツ 11:00 16:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
8		ヨウビ 3カイメ 4カイメ イッカツ シナイ シナイ	キーで「ヨウビ」の下が「イッカツ」の画面の「3カイメ」「4カイメ」の画面を表示させます。
9		ヨウビ 3カイメ 4カイメ イッカツ 22:00 シナイ	キーで点滅位置を移動し、キーで「3カイメ」を「22:00」にします。
10		ヨウビ 3カイメ 4カイメ イッカツ 22:00 シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
11		ユ ミズ フィルタ リョウ 50 20 0	キーで「リョウ」の画面を表示させます。
12		ユ ミズ フィルタ リョウ 40 30 0	キーで点滅位置を移動し、キーで「ユ」を「40」、「ミズ」を「30」にします。
13		ユ ミズ フィルタ リョウ 40 30 0	「設定」キーを押し、設定を確定します。
14		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序3で「ドウサ」を「シュウカンヨヤクドウキ」(週間予約同期)に設定すると、「週間予約」(「週間予約を設定する」23ページ参照)の設定OFF時刻にリンス動作を行います。
- 順序12でフィルターのを設定すると、動作設定してある曜日に1日1回だけ、1回目のリンス時刻に除菌浄水器(水フィルター)内部の水の入れ替えを行います。

自動的に湯タンクの水を入れ替える

この機能を使用するには建物の排水口へ直接排水できる場合で、別売の「自動洗浄装置」が必要です。

[例] 日曜日の5:00に排水させ、水を入れ替える。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		10. タンク ハイスイ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記の画面が出るまで「選択」キーを繰り返し押し ます。「選択」キーを押した後、 キーを押し ても項目送りができます。
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」 が点滅します。
4		ドウサ スル	キーで点滅位置を移動し、 キーで 「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		ヨウビ ジコク (日) 00:00	キーで「ヨウビ」の下が「日」の画面を表示 させます。
7		ヨウビ ジコク (日) 05:00	キーで点滅位置を移動し、 キーで 「ジコク」を「05:00」にします。
8		ヨウビ ジコク (日) 05:00	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「ドウサ」を「シュウカンヨヤクドウキ」（週間予約同期）に設定すると、「週間予約」（「週間予約を設定する」23ページ参照）の設定OFF時刻に湯タンクの水を排水し、次の設定ON時刻に給水します。
この機能を使用すると「週間予約」で停止中は湯タンク内は空になっていて、運転開始時に新しい水が給水されますので衛生的です。
- この機能は置台の排水タンクに排水する場合は、湯タンクの容量の方が多く排水しきれません。
建物の排水口へ直接排水する場合のみとなります。

コントローラーの使いかた (つづき)

基準値を設定する




















この機能は「湯・水」機能で設定した量が、実際の量と異なる場合に補正をする機能です。設定するには、メスシリンダーやはかりなどが必要です。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		11. キジュンチ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		キジュンチ 1 2 ユ 150 150	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ユ」が点滅します。
4	 	キジュンチ 1 2 ユ 120 150	キーで1の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、右側の飲料注出口(630M1は中央)からお湯が出てきますので容器で受け計量します。数回測定して出した平均値を キーで入力します。ここでは仮に120mlとします。
5		キジュンチ 1 2 ユ 120 150	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		キジュンチ 1 2 ミズ 175 175	キーで「ミズ」の画面を表示させます。
7	 	キジュンチ 1 2 ミズ 195 175	キーで1の下を点滅させ「訂正」キーを押すと、右側の飲料注出口(630M1は中央)からお湯が出てきますので容器で受け計量します。数回測定して出した平均値を キーで入力します。ここでは仮に195mlとします。
8		キジュンチ 1 2 ミズ 195 175	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●コントローラーを交換したときや、RAMクリアを行ったときは、基準値設定をしてください。

連続で注出させる

[例] 飲料ボタン2を押したときに、5回連続して注出するようにする。(5杯分注出する)

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		1 2. レンゾク チュウシュツ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、   キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。
4		ドウサ スル	 キーで点滅位置を移動し、   キーで「スル」にします。
5		ドウサ スル	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		ボタン カイスウ セツゾク 2 1 1	  キーで「ボタン」の下が「2」の画面を表示させます。
7		ボタン カイスウ セツゾク 2 5 1	 キーで点滅位置を移動し、   キーで「カイスウ」を「5」にします。
8		ボタン カイスウ セツゾク 2 5 1	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。













- 順序8で「セツゾク」を例えば「2」にすると、飲料ボタン2を押したときに中央の注出口から水が注出されるようになります。

飲料ボタンと注出口の関係が変わりますので十分注意してください。また、通常は変更しないでください。

コントローラーの使いかた (つづき)

同時注出を設定する

[例] 複数の飲料ボタンを押しても同時に注出をしないようにする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		13. ドウジ チュウシュツ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し 押します。(「選択」キーを押した後、   キーを 押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ スル	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「スル」が 点滅します。
4		ドウサ シナイ	  キーで点滅位置を移動し、   キーで 「シナイ」にします。
5		ドウサ シナイ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 飲料の温度を「HOT」に設定した場合です。
- 飲料の温度を「HOT」以外に設定していると、順序3で「スル」に設定しても同時注出できません。

飲料ボタンの注出可否を設定する

[例] 飲料ボタン2を注出できないようにし、飲料ボタン5を有料にする。

■有料での注出設定をするには、別売の「コイン管理装置 [CB-20]」が必要です。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		1 4. ボタンカンリ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ 1-2-3-4-5-6 7-8	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」が点滅します。
4		ドウサ 1- * -3-4-5-6 7-8	キーで点滅位置を「2」に移動し、 キーで「*」にします。
5		ドウサ 1- * -3-4-5-6 7-8	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		コイン *-*-*-*-*-*-* *-*	キーで「コイン」の画面を表示させます。
7		コイン *-*-*-*-* 5 -* *-*	キーで点滅位置を、上段左から5番目の「*」に移動し、 キーで「5」にします。
8		コイン *-*-*-*-* 5 -* *-*	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

コントローラーの使いかた (つづき)

殺菌ランプ動作時間を設定する

この機能を使用するには別売置台のCT-32Mが必要です。






【例】殺菌ランプを50分動作させ、250分休止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		15. サッキンランプ ドウサ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押し続けます。「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができません。
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ ON OFF シナイ 0 200	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ドウサ」の下が点滅します。
4	 	ドウサ ON OFF スル 0 200	キーで「ドウサ」を「スル」にします。
5	 	ドウサ ON OFF スル 50 250	キーで点滅位置を移動し、 キーで「ON」を「50」、「OFF」を「250」にします。
6		ドウサ ON OFF スル 50 250	「設定」キーを押し、設定を確定します。
7		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●別売置台CT-32Mを使用する場合は「ドウサ」を「スル」に設定してください。

ミキシングモーターの回転数を設定する

[例] 飲料ボタン3のミキシングモーターの回転数（通電率）をレベル4に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		16. MIXモーターカイトンスウ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。（「選択」キーを押した後、  キーを押しても項目送りができます。）
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランダ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ボタン 1 2 3 4 レベル 3 3 3 3	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「レベル」が点滅します。
4		ボタン 1 2 3 4 ドウサ 3 3 4 3	 キーで点滅位置を移動し、  キーで「ボタン」の「3」を「4」にします。
5		ボタン 1 2 3 4 レベル 3 3 4 3	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●入力できる値（レベル）と通電率の関係は以下の通りです。

入力値	通電率
1	60%
2	70%
3	80%
4	90%
5	100%

コントローラーの使いかた (つづき)

学習省エネ運転を設定する

[例] 毎朝8:00に省エネモードを開始する

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		17. ガクシュウショウエネ ホカハ U・D ナイヨウハ T	左記画面が表示されるまで「選択」キーを繰り返し押しします。(「選択」キーを押した後、 キーを押しても項目送りができます。)
2		セッテイハ T→U・D・L・R デ エランデ S オワリハ E	「訂正」キーを押すと左記画面が表示されます。
3		ドウサ シナイ ガクシュウショウエネ	「訂正」キーを押すと左記画面が表示され「ガクシュウショウエネ」が点滅します。
4	 	ドウサ スル ガクシュウショウエネ	キーで点滅位置を移動し、 キーで「スル」にします。
5		ドウサ スル ガクシュウショウエネ	「設定」キーを押し、設定を確定します。
6	 	ジカン シナイ カイシジカン	キーで「カイシジカン」の画面を表示させます。
7	 	ジカン 8:00 カイシジカン	キーで点滅位置を移動し キーで「シナイ」を「8:00」にします。
8		ジカン 8:00 カイシジカン	「設定」キーを押し、設定を確定します。
9		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 「カイシジカン」を「シナイ」に設定すれば、使用実績のあった時間帯の1時間前に省エネモードを自動で開始します。

お手入れ

警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る
感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

部品を取りはずし洗浄するとき

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

汚れが落ちにくいとき

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

ミキシングボール・ロートを着脱するとき

ミキシングボール・ロートを着脱するときは、原料容器の蓋に取り付いているキャップを原料容器先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

原料容器を着脱するとき

原料を入れたままで、原料容器を着脱するときは、原料容器の蓋に取り付いているキャップを原料容器先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れてご使用ください。

お手入れの時期と手順

お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。

順番が違くと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順でおこなってください。

毎日のお手入れ

…①②とリンスキーによるリンス洗浄

月に一度のお手入れ

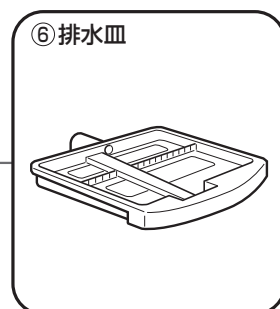
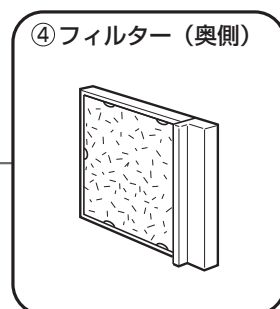
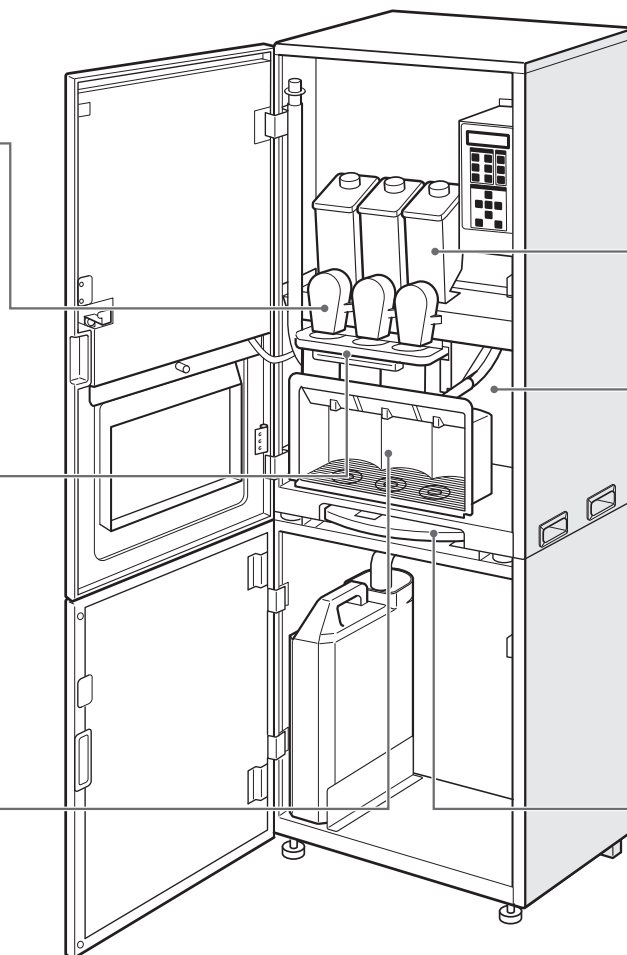
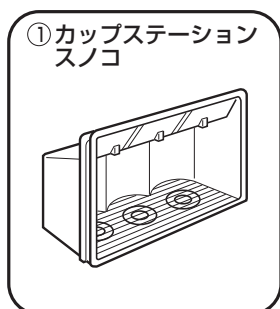
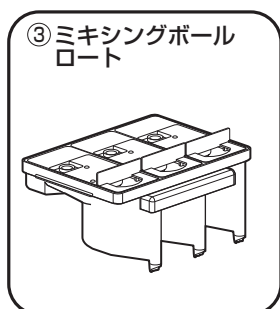
…⑤⑥と別売置台の排水受けの排水口

週に一度のお手入れ

…③④と湯タンクの排水

年に一度のお手入れ

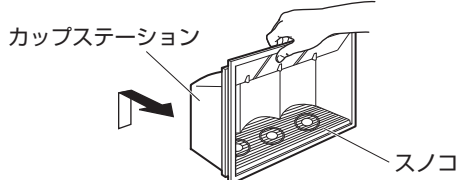
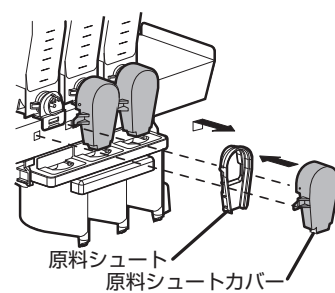
…冷却用タンクの水の交換



お手入れ (つづき)

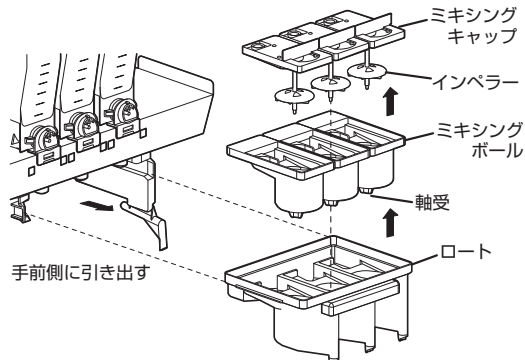
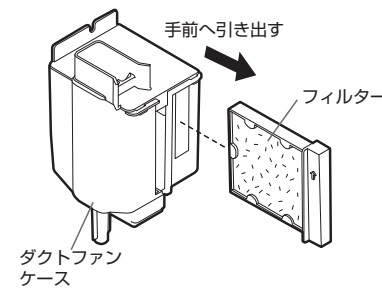
毎日のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。
機械内外のホコリや汚れは、きれいなフキンでふき取ります。

手順	部 品	お手入れのしかた
—	ミキシングボール ロート	リンス キーを押して湯を流し、飲料通過部分（ミキシングボール・ロート部分）を洗い流してください。
①	カップステーション スノコ	左端を少し持ち上げてから、手前に取りはずします。 洗浄した後は水気を良く切ってください。 
②	原料シュート	上に軽く持ち上げてから、手前にはずし、原料シュートと原料シュートカバーを分解してください。 洗浄した後、水気をよく切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。 

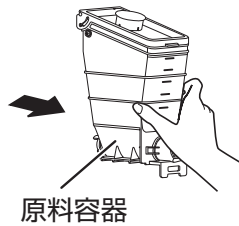
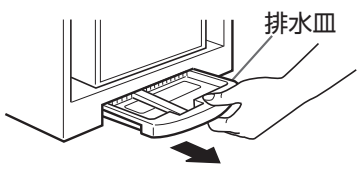
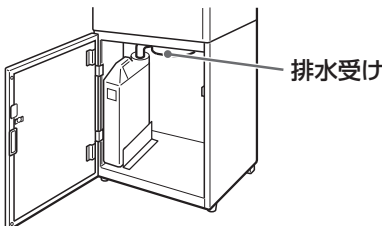
週に一度のお手入れ

①②の部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
③	ミキシングボール ロート	手前に引いてはずし、洗浄した後、水気をよく切り、取り付けてください。 ●ミキシングキャップに付いているインペラーの先端が、ミキシングボールの軸受の中に入るように組み合わせ、それぞれスムーズに回転することを確認してから、ロートと組み合わせて、本体に取り付けてください。 
④	フィルター	フィルターを手前に引き出し、付属のフィルターと交換してください。 ●汚れたフィルターはぬるま湯に浸け置き洗いした後、十分乾燥させてから保管してください。 
—	湯タンク	湯排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。

月に一度のお手入れ

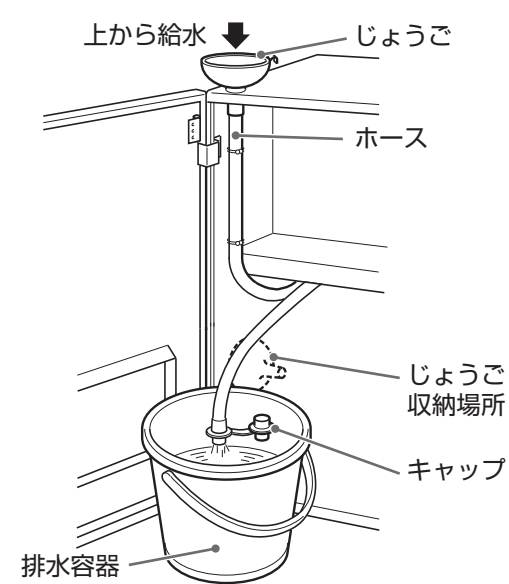
①～④までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた	
⑤	原 料 容 器	原料容器中の原料を出して、ぬるま湯で洗浄した後、十分乾燥させてください。	
⑥	排 水 皿	本体底部から引き出して、ぬるま湯で洗ってください。	
一	置 台 排 水 口	置台上方の排水受けの排水口がゴミなどで詰まることがあります。化粧ネジ（1本）を取り、排水受けをはずし点検してください。ゴミなどが詰まっているときは、清掃してください。	

お手入れ (つづき)

年に一度のお手入れ

冷却用タンクの水の交換

お手入れのしかた		
排水方法	<p>キャップをはめたままホースをはずし、排水容器の中にホースの先端を入れ、キャップをはずし排水をします。(冷却用タンク容量：4.9L) 排水が終わったら、キャップをはめて、ホースを本体にセットしてください。</p>	
給水方法	<p>本体上部中央のネジをはずし上面板をはずしてください。ホースを本体にセットしたままキャップをはずし、上面の左手前側にある穴からじょうごを入れて、ホースの先端に差し込み、上から給水をします。じょうごは、本体内部の左側面の下側に収納されています。 タンクがいっぱいになると、溢れて排水皿に水が流れるのが見えます。給水を止め、じょうごをはずして、ホースにキャップをはめてください。</p>	

別売部品

次のものが別売部品として用意されています。詳しくは販売店にご相談ください。
置台については「はじめてご使用になる前に」(7～8ページ参照)。

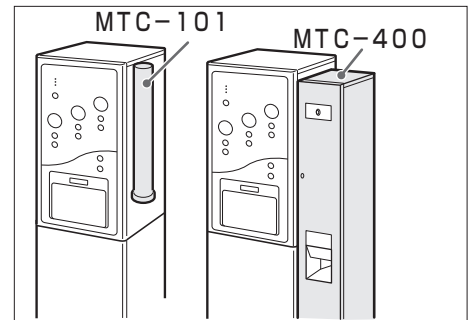
カップホルダー (MTC-101、MTC-400)

自動お茶いれ機本体に取り付け可能です。

MTC-101は、カップサイズが4段階調節可能で、自動お茶いれ機本体の左右どちら側にも取り付けられます。

MTC-400は、自動カップホルダーで、ボタンを押すとカップが出てきます。(カップサイズの調節はできませんので、指定のカップをご使用ください。)自動お茶いれ機本体の右側のみ取り付け可能です。

※MTC-400は、コイン管理装置 (CB-20) との併用はできません。



原料

自動お茶いれ機専用として、特に厳選された原料を用意してあります。

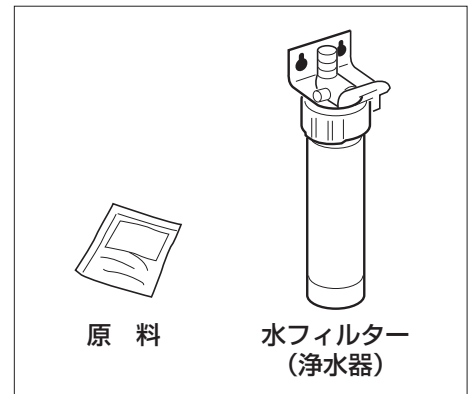
原料は粒度や吸湿性の違いにより正常な動作ができないことがありますので、必ず指定の原料をご使用ください。

除菌浄水器 (水フィルター)

水道水に含まれる臭いを除去し、雑菌繁殖を防ぐためのものです。

水フィルターは性能を維持するため、定期的な交換が必要です。

詳しくは販売店にご相談ください。



自動洗浄装置 (JST-20)

排水用電磁弁です。コントローラーで曜日・時刻を設定しておくで、その時刻に自動的に湯タンク内の水を排水し、再給水して新しい水と入れ替えることができます (但し直接排水できる場合に限りです)。

コイン管理装置 (CB-20)

コインメカニズムを使用し、有料で注出する飲料をコントローラーで設定することにより、コインを投入した時だけ飲料ボタンを受け付けるようにします。

※自動カップホルダー (MTC-400) との併用はできません。

カップ置台

前面板の飲料注出部の下側に取り付けることにより、複数杯注出した場合にカップを置くことができます。

漏水検知装置 (RKT-25) [D/PAタイプ用]

漏水センサー・外部追加の電磁弁・ドレンパンなどのセットで、万一水漏れした場合に外部追加の電磁弁を閉める機能があり、水漏れに対する安全性が向上します。

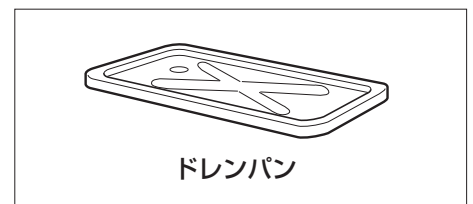
ドレンパン (RKT-01P) [PB/T/TUタイプ用]

置台の下に敷き、床面を汚さないようにするためのものです。

大きさは524mm×574mmで、深さは17mmです。

リード線付漏水センサー (RKT-03P) [PB/T/TUタイプ用]

ドレンパンとセットで使用し、万一水漏れした場合に検知します。



修理サービスを依頼する前に

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
準備中が点灯	● コントローラーに休止モニターが表示されていませんか？	● 休止モニターの表示に従ってください。
	● 学習省エネ運転による休止中ではありませんか？	● 運転再開まで待つか、「エコ運転」キーで一時解除してください。 ● 「沸騰」キーで湯タンクを沸き上げ、適温70℃になれば温飲料は抽出できます。
湯が沸かない	● 電源プラグがはずれていませんか？	● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	● 電源スイッチが切れていませんか？	● 電源スイッチを入れてください。
	● 水タンクに水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	● 水タンクの残水量が少なくなると本体へ給水しなくなり、湯タンクの水位が下がりヒーターに通電されなくなります。タンクに水を補給してください。
	● 断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？(水道直結タイプの場合)	● 同上の理由でヒーターに通電されなくなります。給水配管の止水栓を開いてください。
	● 「週間予約」・「休日予約」の休止中ではありませんか？	● 運転再開まで待つか、「タイマー解除」キーで一時解除してください。
	● 学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	● 「エコ運転」キーで一時解除するか、「沸騰」キーで湯タンクを沸き上げてください。
湯がぬるい	● 湯温の設定が低くなっていませんか？	● お望みの温度に設定してください。
	● 湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？	● 湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックはしっかりと閉めてお使いください。
	● 水タンクには水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	● 水を補給してください。 約40分で沸き上がります。
	● 断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？ (水道直結タイプの場合)	● 給水配管の止水栓を開いてください。
	● 学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	● 「エコ運転」キーで解除するか、「沸騰」キーで湯タンクを沸き上げてください。
冷水の冷えがわるい	● 本体後面の排気口が塞がっていませんか？	● 本体を壁などの障害物から離してください。
	● 直射日光が当たっていませんか？	● 窓にブラインドなどをしてください。
	● 近くに熱器具がありませんか？	● 熱器具と離してください。
	● 連続して多量の冷水を取り出した後ではありませんか？	● 再び冷えるまでしばらくお待ちください。 約10分で適温となります。
	● 冷却用タンクに水が充分入っていますか？	● 冷却用タンクに給水してください。
	● 学習省エネ運転による余熱モード中ではありませんか？	● 運転再開まで待つか、「エコ運転」キーで一時解除してください。
排水ランプが点滅	● 置台の排水タンクが満水ではありませんか？	● 排水タンクの水をすててください。
断水ランプが点滅	● 湯タンクまたは冷却用タンクの水位が低くありませんか？(休止モニターに表示されます)	● 湯タンクまたは冷却用タンクに給水してください。
	● 水タンクには水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	● 水を補給してください。
	● 断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？ (水道直結タイプの場合)	● 給水配管の止水栓を開いてください。
	● 冷却用タンクに水が充分入っていますか？	● 冷却用タンクに給水してください。
運転音が大きい	● 機体が不安定ではありませんか？	● 床にかいものなどをして、機体がグラグラしないように安定させてください。
	● 機体が他の製品に触れていませんか？	● 他の製品から離してください。

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
飲料の味がまずい 飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	●湯・水・原料の量、基準値が適切ですか？	●湯・水・原料の量、基準値をお好みの味となるように再設定してください。
	●原料の種類をかえていませんか？	●指定の専用原料をご使用ください。
	●原料は充分入っていますか？	●原料を補給してください。
	●原料容器出口がつかまっていませんか？	●湿気が多いと出口がつかまることがありますので、原料補給時につまりを取り除いてください。
	●原料シュートは取り付けられていますか？	●原料シュートを取り付けてください。 原料シュートがないと原料が飛び散ります。

仕 様

項 目	給 茶 部	冷 水 部	
製 品 寸 法	巾450mm×奥行500mm×高さ880mm (置台組合せ1530mm)		
製 品 質 量	44kg 【43kg】		
タ ン ク 容 量	7.2L	4.9L	
湯・冷水温度	約95℃ (60～98℃可能)	約4℃	
原 料 容 器	3個 【2個】		
原料容器の容量	約800ml		
給水管口径	G1/2A		
電 気 規 格	電 源	単相交流100V 50/60Hz共用	
	消費電力	1,015W	175/190W
表 示	LEDランプ		
加 熱 装 置	電熱装置	シーズ線ヒーター (1,000W)	—
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール	—
	安全装置	温度過昇防止器	—
冷 却 装 置	圧 縮 機	—	完全密閉型
	凝 縮 機	—	プレートフィン付チューブ (強制空冷)
	冷 媒	—	フロンHFC-134a (70g)
	温度調節	—	IBC (アイスバンクコントロール)
付 属 品	取扱説明書、工事説明書、保証書、鍵、フィルター、(注1) 商品ラベル (注1) 商品ラベルセット、排水ホース、排水ホースジョイント		

●HTC-830M1を主体に表示してあります。【 】内はHTC-630M1の仕様です。

(注1) 商品ラベルセットは使用する原料を表示するラベルで、商品ラベルは飲料の種類を表示するラベルです。

工場出荷時表示してある飲料以外の飲料を注出する場合に使用します。商品ラベルの中から注出する飲料のラベルを選び、前面板の商品ラベルと貼り替えてください。

次に6ページの飲料ボタンと原料容器の関係を見ながら、商品ラベル下の飲料ボタンに対応する原料の商品ラベルセットを、原料容器と原料容器棚後部のラベルセットの上に貼ってください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

- この自動お茶いれ機には、保証書を別途添付しております。
 - 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
 - この自動お茶いれ機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- この自動お茶いれ機の補修用性能部品の製造打切後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

41～42ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は.....

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。


■修理料金の仕組み.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

出張修理

■ご連絡いただきたい内容.....

品名	自動お茶いれ機
形名	HTC-830M1/HTC-630M1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入しておくとう便利です。 TEL.

 <p>愛情点検</p>	長年ご使用の自動お茶いれ機の点検を！		
	このような症状はありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレーカーがたびたび切れる。 ●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。 ●運転音が異常に大きい。 ●電源スイッチの動作が不確実。 ●その他の異常・故障がある。 	▶ ご使用中止